

ジャンボタニシ

スクミリンゴガイ がいませんか？

これがスクミリンゴガイ
(ジャンボタニシ)



成貝(殻高2~7cm程度)



● 法面に産み付けられた卵塊



● イネに産み付けられた卵塊

どんな
被害が
ある？

田植え直後のイネを食いちぎったり、水面に浮かぶ葉を引き込むように食害します。被害が多ければ欠株になり、収量に影響することもあります。

田植え後約20日間のイネがやわらかい時期に被害を受けやすく、苗が大きくなると被害が少なくなります。1cm以下の幼貝はイネの茎を食害できません。乾田直播栽培では、イネが硬くなったのちに入水するので、被害は比較的問題になりません。



イネを食べるジャンボタニシ



● 被害にあった生育初期のイネ



● 被害にあった水田

ジャンボタニシ スクミリンゴガイから

イネを 守ろう

水稻生育期に取り組む ジャンボタニシ対策

用水路から侵入させない

水田の取水口と排水口に9mm目合いのネットや金網(2cm以下の細かい目)を設置します。ネット等のゴミ詰まりを防ぐため、外側に目の粗い網を設置します。



取水口に設置した金網

田植え後20日間は浅水管理する

水深が4cmを超えると被害が生じやすくなります。

田んぼ内と周辺のジャンボタニシを減らす

水田内、用水路などのジャンボタニシの捕殺に努め、卵塊は早めに水面下へ払い落とし、卵がふ化できないようにします。

農薬で防除する(令和6年5月時点の登録です)

- スクミノン 1～4kg/10a・収穫60日前まで・2回以内
- ジャンボたにしくん 1～2kg/10a・収穫60日前まで・2回以内
- スクミハンター 1～2kg/10a・収穫45日前まで・3回以内
- スクミンベイト3 2～8kg/10a・発生時・一
- パダン粒剤4 4kg/10a・収穫30日前まで・6回以内

(注)主な登録農薬を示した。いずれかの登録農薬を散布することで、殺貝や食害防止を図る。ただし、「スクミノン」と「ジャンボたにしくん」は同一成分を含むため散布回数に注意する。

農薬散布の注意事項

- 散布後、7日間は落水、かけ流しはしないようにしましょう。
- 最新の登録情報を確認し、農薬のラベルに記載された使用方法、使用上の注意事項を守って使用しましょう。

※周辺の生活環境動植物の被害防止に努めましょう。

用水路などのジャンボタニシは 地域ぐるみで退治(捕殺)しよう

(一部のみの捕殺ではなかなか効果があがりません)